

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(5)	身体拘束が早期に解除できるような取り組みに期待する。	身体拘束が解除できるよう身長に努める。	現在当事業所で行っている身体拘束は、自立歩行が困難な方が夜間ベッドより頻回に降りようとする問題行動への対処の為、片面をベッド柵で囲うという拘束を行わないと事故に繋がる可能性が非常に高い方のみ拘束を行っています。服薬調整・認知症(問題行動)の程度・安全性などを慎重に検討し、拘束解除へ努めていきたいと思っています。	36か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。